



# 校長室だより

黒部市立荻生小学校  
文責：校長 寺島紀子  
令和4年12月23日  
第36号

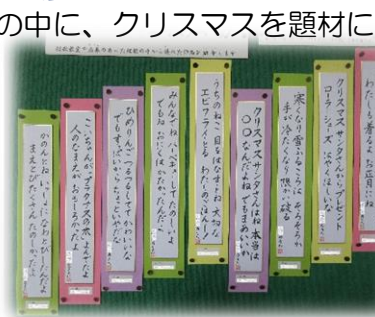
## 冬の寒さに負けずに過ごしましょう

先週末から本格的な冬将軍が到来しました。グラウンドが一面雪に覆われた今週前半は休み時間にそり遊びを楽しむ子供たちの姿が見られました。また、校内では進んで縄跳び練習に取り組む子たちもいます。感染対策と安全のために、そり遊びや体育館での運動や遊びは低・中・高に学年を分け、人数制限をしながら行うようにしています。コロナやインフルエンザ等心配な面もあり、悩ましいところなのですが、健康な子供には適度に体を動かし、体力をつけてもらいたいと思っています。もちろん、運動前後の体調チェックや汗の始末、手洗い等も含め、自分なりに正しく体調を管理する習慣付けも大事です。こうしたことは、明日からの冬休みもご家庭で引き続きよろしく願いいたします。



さて、清掃の時間には6年生が玄関前の雪かきにいそしんでいました。いやいやではなく何だか楽しそうに…！ ありがとう！そしてお疲れ様！ 秋の落ち葉はきや冬の雪かき等、こうした6年生の頼もしい姿を見ることができると、教員の喜びです。**「目に見えないものを信じる心」を大切にしたいですね**

先週、何人かの子たちが校長室で作った短歌の中に、クリスマスを題材にしたものがありました。こんなプレゼントがほしいとか、サンタクロースのことを想像したものなど、子供らしいかわいい歌でした。



この季節になると私は『サンタクロースっているんでしょうか』（偕成社）という小さな本を読み返します。サンタクロースってほんとうにいるんでしょうか？ 8歳の少女の質問に答え、ある新聞社が愛情を込めて出した、味わい深い返事の内容は…？ 120年ほど前のアメリカで実際にあったお話です。詳しい内容はここでは紹介しすぎないようにしたいのですが、「サンタクロースが信じられないというのは妖精が信じられないのと同じです」と、目に見えないものほど確か変わらないものはこの世にはないと語りかけています。そういえば、サン・テグジュペリ『星の王子様』でも「本当に大事なものは目には見えないんだよ」という言葉がありました。サンタクロースに限らず、（キリスト教の）神様、仏様、八百万（やおよろず）の神様、お天道（てんとう）様、…。「目には見えないものの存在や力を信じる心」を、私たち大人も大切にできたらと、思っています。

## 12/23(金)終業式 2学期もありがとうございました

長かった2学期も過ぎてみればあっという間でした。最終日の今日は、残念ながら全員そろっての登校はかありませんでしたが、オンラインでの終業式を行いました。

終業式での校長挨拶としては、2学期は高学年（特に6年生）の活躍が素晴らしく、その素敵な姿に下級生もあこがれをもってついていくことができたこと、それによって荻生小学校が皆笑顔で輝ける学校に近付いたことを称えました。さらに「当たり前」と思うことの中に「ありがとう」の感謝の気持ちをもてる人になってほしい、ということをお話しました。

保護者の皆様、地域の皆様、そのほか今学期いろいろな面からお世話になった皆様、本当にありがとうございました。よいお年をお迎えください。



わんぱくタイムの様子

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。

# 児童会より、募金を社会福祉協議会に手渡しました

先日行った、児童会の募金により2万円以上のお金が集まりました。これらの募金を赤い羽根共同募金や県善意銀行に振り分けることとし、21日(水)には赤い羽根共同募金の分を黒部市社会福祉協議会の方に手渡しました。今回来校された社福協事務局長の長田行正さんは荻生地区在住で、20年近く前に本校のPTA会長をしておられた方でした。そのためか、募金を手渡した計画委員会の子供たちにひときわ温かいまなざしで接してくださいました。また、赤い羽根の募金が地元黒部市の福祉のためにも使われることから、荻生地区の児童民生委員の方からのメッセージを読み上げ、感謝の言葉を伝えてくださいました。ありがとうございます。



荻っ子たちがそれぞれの家庭から持ち寄った募金が、広く社会のために使われることを願っています。

## シリーズ「教室におじゃまします」12/19(月)4年算数科の巻

雪の降る寒い日でしたが、教室には半袖体操服の子が3人！ 元気ですね。この日は午前中に1時間算数があり、おじゃました5限目はその続きでした。帯分数のたし算の復習として「計算スキル」の問題にまずは取り組みます。「帯分数のまま計算するのと、仮分数にして計算するのと、2通りあったね」と確認した後、4分間で集中して解答しました。その後の丸付けも各自でテキパキ行い、終わった人から先生に提出します。慣れた様子で進みます。



3  $2\frac{4}{5} - 1\frac{3}{5}$  の計算のしかたを考えましょう。

たし算のしかたをもとにして、帯分数のひき算のしかたを考えよう。

① 2人の考えを説明しましょう。

しほ  $2\frac{4}{5} - 1\frac{3}{5} = 1\frac{1}{5}$

はるか  $2\frac{4}{5} - 1\frac{3}{5} = \frac{14}{5} - \frac{8}{5} = \frac{6}{5}$

②  $1\frac{1}{5}$  と  $\frac{6}{5}$  が等しいことをたしかめましょう。

③ 右の計算のしかたを

その後はこの時間の新しい学習、帯分数のひき算でした。教科書の例題を基に学習します。最初は問題の中の帯分数を図で表しながら、数の大きさを実感できるように、平野先生が黒板で確認しました。次に、これを計算ではどのように処理するかを考えます。



ここでもたし算と同じで、帯分数のまま計算する場合のポイントは「整数部分と分数部分に分けて計算する」ということでした。ここまでは簡単です。

次に先生は「では、この問題やってみて」と帯分数のままでは計算が難しいような問題を出題しました。帯分数を仮分数に直して計算する必要があります。思い切って自分の考えを説明するために黒板に書いてみる子、急に恥ずかしくなったのか、先生に書いてもらいながら説明する子など、いろいろでしたが、教室全体が同じ問題の解き方について考えを出し合っている様子が素晴らしいと感じました。よいチームワークで学習ができている、素敵な4年生でした。もう少しでまとめに入れそうです。



**おまけの<ひとこと>** もう15年以上前、私がある中学校で勤めていたときのこと。ちょっと先輩の先生で、お宅が神社という方がおられました(つまりその方は神主さんでもありました)。興味本位で「神社にもサンタさんは来るんですか？」と聞いたところ「うん、神社にもサンタさんは来るよ。子供を喜ばせるためにやってくる」と自信をもって語っておられました。子供たちのためにサンタさんは国境を越え、宗教の壁を越えてやってきてくれるのですね。さて、今もウクライナではこの寒さの中戦いが続き、クリスマス停戦という良心的なことは行われな様子。せめてクリスマスの夜だけは心安まる夢が見られることを願います。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。